

# いいこと、いっぱいあるんだよ！

わたしたち人間は、地球上にすむたくさんの生き物の一員として、おたがいに<sup>もくざい</sup>つながり合<sup>くすり</sup>って生きています。水や空気、食べ物、そして、木材、紙、薬など、わたしたちは自然から数え切れないほど多くのめぐみを受けてく<sup>いちいん</sup>らしています。



## (1) 利用する

わたしたちは、毎日のくらしの中で、さまざまな生き物を利用して<sup>りよう</sup>います。



給食には、たくさんの種類の生き物が使われています。給食を食べるとき、何種類の生き物が見つけれられるか数えてみましょう。

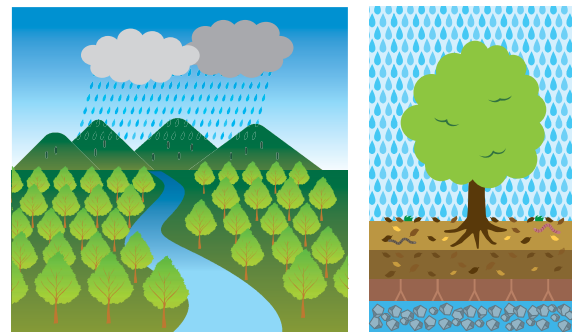
生き物の形やしくみをヒントに、新しい技術が開発され、ものづくりが行なわれています。



新幹線 500 系車両のデザインは、ダイビングの衝撃が少ないカワセミのくちばしと頭の形をヒントにしてつくられています。

## (2) 守られる

森の土はふかふかしています。降った雨は、ふかふかした土の中にしみこみ、たくさんの生き物を育てながら、ゆっくりと流れ出します。



森から流れ出た水は、川になって平地を流れ、わたしたちのくらしにも利用されながら、海へと流れていきます。

わたしたちがくらす町は、昔にくらべて、だんだんと暑くなっています。町の中にある緑は、夏の暑さをやわらげてくれます。



みどりがあか 緑ヶ丘から鑄物師付近を上空から見た様子 (2007 年撮影)

## (3) 親しむ

美しい水と緑の森、木々のかおり、風、鳥や虫の声など、四季折々の自然の姿は、いつも人々のつかれをいやし、心にやすらぎをあたえてくれます。



伊丹緑地から緑ヶ丘、瑞ヶ池、昆陽池に続く緑豊かな公園は、市民の散歩道として、とても人気があります。

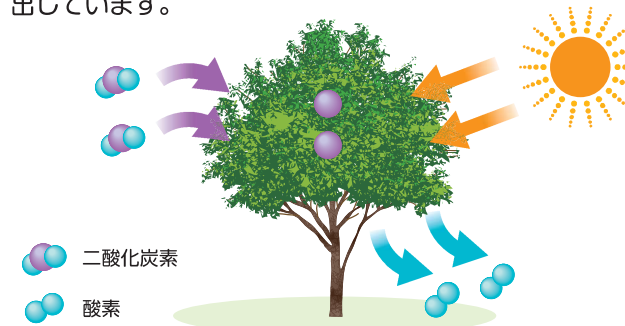
「有馬山あまのささ原風吹けば…」と百人一首によまれた猪名の笹原は、多くの人たちの心を育み、数多くの歌が今に伝えられています。



伊丹市では、昔あった風景とされる猪名の笹原を再現する取り組みを進めています。(写真は猪名の笹原モデル園のキキョウ)

## (4) つながる

植物は、日光が当たっているときに、空気中の二酸化炭素を吸収して、わたしたち生き物に欠かせない酸素を出しています。



植物も生きていくために、呼吸をしています。呼吸で使用する酸素の量よりも多くの酸素を昼間に出しています。

わたしたちが主食にしているお米は、田んぼにすむたくさんの生き物のつながりの中で育ちます。



田んぼにすむ生き物



### 「生物多様性について考えてみよう」

身近にいろいろな自然環境があって、昔から身の回りにいた個性豊かな生き物が、たくさんすんでいることは、わたしたちが生きていくためにとても大切なことです。生き物は、食べたり食べられたり、おたがいに関係しながら、あみの目のようにつながり合って生きています。生物多様性には、3つのレベルの多様性があります。⇒

